



今の特集・理解のための チェックリスト

1 日本の高血圧の疫学について間違っているものはどれか、ひとつ選べ。

- A. 国民の血圧レベルは2000年代に入っても低下傾向にある。
- B. 脳卒中の予測因子として、収縮期血圧のほうが拡張期血圧より優れている。
- C. 動脈硬化のリスクは正常血圧のレベルから増大する。
- D. 高血圧者の約1/4がメタボリックシンドロームを合併している。
- E. 慢性腎臓病では血圧レベルと心血管病リスクの間にJカーブ現象が認められる。

2 高血圧と心血管病の疫学について間違っているものはどれか、ひとつ選べ。

- A. 日本の一般住民の高血圧頻度(年齢調整)は時代とともに着実に低下している。
- B. 収縮期血圧レベルと脳卒中リスクの間には直線的な正の関連がある。
- C. 80歳以上の超高齢者でも高血圧は心血管病のリスクを増大させる。
- D. 心血管病の予測因子として、平均血圧のほうが脈圧より優れている。
- E. 集団において収縮期血圧が1~2 mmHg低下すると心血管病のリスクが着実に低下する。

3 『高血圧治療ガイドライン2009(JSH2009)』において、血圧に基づいた脳心血管リスク層別化に用いられた危険因子に含まれていないものはどれか、ひとつ選べ。

- A. 高齢(65歳以上)
- B. 飲酒
- C. 喫煙
- D. 脂質異常症
- E. 糖尿病

4 仮面高血圧の治療について正しいものはどれか、2つ選べ。

- A. 家庭血圧測定での血圧を指標に、治療目標値を135/85 mmHg未満として治療を行う。
- B. 1日1回投与の薬剤で容易に血圧コントロールがつかうことが多い。
- C. 夜間の交感神経の活性化を抑制するために、就寝前の α 遮断薬や中枢性交感神経抑制薬が有効である。
- D. アルコール多飲は仮面高血圧のリスクとなることはない。
- E. 仮面高血圧患者の予後は白衣高血圧患者と同等であるため治療不要である。

5 夜間高血圧について正しいものはどれか、2つ選べ。

- A. 家庭血圧測定では夜間高血圧を診断できない。
- B. 睡眠時無呼吸症候群は夜間高血圧のリスクとなる。
- C. 夜間高血圧では夜間の血圧低下が不十分である。

- D. 家庭血圧測定で早朝・就寝時血圧が正常であれば夜間高血圧は否定できる。
- E. 夜間高血圧の治療は夜間血圧レベルを指標に行うべきである。

6 家庭血圧測定について正しいものはどれか、2つ選べ。

- A. 家庭血圧測定の値はきわめて信頼性が高く安定しており、患者の日常生活の影響をまったく受けない。
- B. 家庭血圧における治療目標値は135/85 mmHg未満である。
- C. 家庭血圧測定は24時間血圧測定よりも測定値の再現性がよい。
- D. 診察室血圧は家庭血圧よりも心血管予後と関連がよい。
- E. 血圧測定は朝昼晩の血圧測定が推奨されている。

7 高血圧治療の原則として正しい記述を2つ選べ。

- A. 降圧薬の心血管病抑止効果は、その種類よりも降圧度によって規定される。
- B. 単剤もしくは併用使用を目的に、最初に投与すべき降圧薬としてJSH2009で推奨されているものは、カルシウム拮抗薬、ARB、ACE阻害薬、利尿薬である。
- C. 降圧薬は1日1回投与が原則であり、1日2回の分割投与は考慮する必要がない。
- D. 降圧目標を達成するためには、多くの場合2~3剤の併用が必要であり、その場合少量の利尿薬を積極的に使用することは有用である。
- E. 合剤により処方単剤化することは経済的であるが、アドヒアランスの改善にはつながらない。

8 降圧薬の併用療法として推奨される組み合わせについて誤っているものをひとつ選べ。

- A. カルシウム拮抗薬+ β 遮断薬
- B. ACE阻害薬+カルシウム拮抗薬
- C. ARB+利尿薬
- D. カルシウム拮抗薬+ARB
- E. 利尿薬+ β 遮断薬

9 発症3時間以内の超急性期脳梗塞の血栓溶解療法を行う際の降圧目標値として正しいものを選べ。

- A. 220/120 mmHg以下
- B. 185/110 mmHg以下
- C. 180/105 mmHg以下
- D. 160/100 mmHg以下
- E. 140/90 mmHg以下

10 脳血管障害慢性期の治療で、積極的に推奨されない降圧薬はどれか。

- A. β 遮断薬
- B. 利尿薬
- C. ARB
- D. ACE阻害薬
- E. カルシウム拮抗薬

11 以下の文章のうち、正しいものはどれか。

- A. 脳出血急性期の降圧目標は120/80 mmHg未満である。
- B. ラクナ梗塞では140/90 mmHg未満よりさらに低い降圧目標が推奨される。
- C. 脳梗塞急性期の降圧は禁忌である。
- D. 脳梗塞慢性期にはすみやかな降圧が推奨される。
- E. 無症候性脳血管障害では積極的な降圧治療は不要である。

12 次のうち誤っているものを選べ。

- A. 脈波伝播速度(pulse wave velocity; PWV)では、血管硬化が増すと速度は速くなる。
- B. 増幅係数(augmentation index; AI)は、末梢からの反射波を反映している。
- C. 頸動脈エコー検査において、総頸動脈の内膜中膜厚(IMT)が1.1 mm以上を異常とする。
- D. 足首上腕血圧比(ankle-brachial index; ABI)が1未満を異常とする。
- E. shear stressが低くなるとeNOSの発現は低下する。